



福岡県とベトナム・ハノイ市との友好提携 10 周年 ～大きく広がった交流～

福岡県企画・地域振興部国際局地域課

アジアとともに 発展することを目指して

福岡県は、地理的にアジア地域に近く、古くからアジアへの玄関口として発展してきた歴史や文化があります。また、農業が盛んである一方、鉄鋼、自動車、ロボットなどの産業も集積しています。さらに、空港や港湾、鉄道網や高速道路網が充実し、国内外へのアクセス拠点となっています。

このような地理的条件やメリットを活かして「アジアとともに発展する」ことを目指し、タイ・バンコク都（2006年2月）、インド・デリー準州（2007年3月）に続き、2008年2月にベトナム・ハノイ市と友好提携を締結しました。このほか、アメリカ・ハワイ州（1981年9月）、中国・江蘇省（1992年4月）を加えた計5地域と姉妹・友好提携を結び、幅広い交流を積極的に進めています。

交流基盤の整備・充実

ハノイ市との友好提携が契機となって、ベトナムとの交流機運が高まり、2008年に民間団体「九州ベトナム友好協会」が設立されました。翌2009年にはノン・ドゥック・マイン・ベトナム共産党書記長（当時）立会いのもと、在福岡ベトナム総領事館が開設され、また、ベトナム航空がホーチミン線に加え、ハノイ直行便を就航しました。さらに、2014年に福岡県議会がハノイ市人民評議会との交流促進の取決めを締結するなど、さまざまなレベルで交流基盤が整備され、充実したものになっています。

人的交流の拡大

ベトナムから福岡県への入国者数は年々増加しており、ハノイ市と友好提携を締結した2008年と比べると、

2017年は約12倍の2万1,225人となっています。

また、ベトナムからの留学生も急増しています。福岡県は、東京、大阪に次いで全国で3番目に留学生が多く、1万7,500人（2017年5月時点）を超えていますが、このうち、ベトナムからは5,000人を超え、中国に次いで2番目に多くなっています。友好提携を締結した2008年の71名（同年5月時点）から70倍以上の飛躍的な増加です。また、福岡県への留学経験者により、2011年、ハノイ市に元留学生会が組織されており、ベトナムとの人的ネットワークがさらに強化されています。



ベトナム人留学生会の交流

環境分野の交流

アジア地域は、急速な経済発展などにより、多くの環境課題を抱えています。福岡県は、深刻な環境問題を克服した経験を活かして、アジア地域の環境問題改善に取り組んでいます。

ハノイ市とは、2010年に環境協力協定を締結し、環境担当行政官の招へい研修や環境教育セミナーなどを実

施しています。また、2015年、福岡県の技術支援により、日本の廃棄物処分場の標準になっている「福岡方式」（準好気性埋立方式）による処分場がハノイ市に竣工しました。その後、ベトナム中部のトゥアティエン＝フエ省でも「福岡方式」処分場の導入が決定するなど、ベトナムの環境改善に大きな成果を上げています。



「福岡方式」によるスアンソン処分場の竣工式



スアンソン処分場維持管理支援

友好提携 10 周年にあたり

今年は、友好提携 10 周年の節目にあたります。そのため、6 月に知事や県議会議長をはじめとする福岡県訪問団がハノイ市を訪問し、農業分野の交流を追加した覚書を締結しました。また、グエン・スアン・フック首相やダン・ティ・ゴック・ティン国家副主席を表敬訪問する機会に恵まれ、福岡県とハノイ市との交流は、両国関係の発展に大きく貢献していると高く評価していただき、今後も最大限支援していくとの心強いお言葉をいた



福岡県・ハノイ市友好・協力関係の更なる発展に関する覚書締結式



フック首相表敬訪問

だきました。

また 7 月には、ハノイ市訪問団が福岡県を訪れ、伝統舞踊公演や観光地紹介、料理や雑貨の販売などを行うイベントを開催しました。在福岡ベトナム総領事館にも協力いただき、多くの県民にベトナムやハノイ市に親しんでもらう絶好の機会となりました。

今後の交流について

今年は、日越外交関係樹立 45 周年でもあり、両国の関係は極めて良好です。福岡県では、国と国との信頼関係や友好関係の基礎は、人と人の草の根交流、地域どうしの交流の積み重ねから成るとの信念のもと、地域間交流を進めています。今後も、ハノイ市をはじめベトナムとの交流がさらに幅広く、奥行きのあるものとなるよう取り組んでまいります。